

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。
大分県内の農林水産業の中から選りすぐりの話題を大分県拠点からお届けします。

大分☆農・カーボンプロジェクト

第10回勉強会を開催しました！

令和6年1月26日

大分市



大分☆農・カーボンプロジェクトの記念すべき第10回目の勉強会は、プロジェクト勉強会としては初めて林業分野を取り上げて「森林×SDGs」をテーマに開催しました。

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会の林会長から、しいたけの原木となるクヌギ林のCO2削減効果についての講演を、田島山業株式会社の田島統括本部長から、「みんなの森プロジェクト」やJ-クレジットの取組について事例発表を受け、意見交換を行いました。

参加者からは、森林更新によるCO2削減効果やJ-クレジットのメリット、制度の推進方法などへの活発な質問・意見とともに、「どんぐりころころの童謡のストーリーと同じだと感じた」、「CO2の吸収と排出の比較など考えたことがなかったのが勉強になった」、「生態系維持や水源涵養など森林の持つ価値を改めて考えることができた」などの感想があり、関係者が連携して、J-クレジット制度も有効活用しながら、森林を守る取組の必要性を認識し、見識を深める会となりました。



講演

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会
会長 林 浩昭 氏



事例発表

(株) 田島山業
統括本部長
田島 大輔 氏



勉強会の概要
要はこちら



大分☆農・カーボンプロジェクトとは？

喫緊の課題となっている地球温暖化への対応のため、農業者に限らず、多様な業種や消費者の皆様が集まってもらい、カーボンニュートラルに資する事例の紹介や勉強会を通じて、これまで気づいてこなかったことに気づき、環境に負担をかけない農業やエネルギーの節約、再生エネルギーの活用など持続可能な社会づくりに役立ててもらうことを考えています。

勉強会は3ヶ月に一回程度開催していますので、是非ご参加ください。



大分の農林水産業におけるカーボンニュートラルのプラットフォームを目指しています！

プロジェクト
HPはこちら



農業者等との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

大学生との意見交換を行いました

大分大学経済学部
(大分市) 令和6年1月19日



立命館アジア太平洋大学
(別府市) 令和6年1月22日



食料・農業・農村基本法の見直しに関して、農林水産省は特に学生、若手農業者、農業女子から意見を伺うこととしており、大分県拠点では1月から2月にかけて3つの大学の学生と基本法、みどり戦略に関して意見交換を行いました。いずれの大学でも若者の視点でとらえた貴重な意見をいただくことができ、また、地域の課題解決のため農林水産業にかかわる独自の活動を行っている大学もあり、今後も継続して意見交換を行わせていただきたいと思います。

日本文理大学人間力育成センター
(大分市) 令和6年2月14日



消費者に安心して飲めるお茶を届けたい

(株) 高橋茶園 高橋雄三
(臼杵市)
令和6年1月16日



消費者に安心して飲めるお茶を届けたいと思い、1990年代から有機農業に取り組み、2001年に全ての園地で有機JAS認証を取得しました。今では、ドイツ、フランスなどのヨーロッパを中心に輸出を行っています。「みのりの茶CAFE」を昨年オープンし、多くの人にお茶の魅力や日本文化を広めていきたいと取り組んでいます。



女性の力で地域の将来を明るくしたい

豊後高田市AFFネットワーク
(豊後高田市)
令和6年1月18日



「玉津まちの駅 夢むすび」で農産物や弁当の販売、子ども食堂や地域住民の交流の場などの運営にも携わる女性農業者組織です。当市は移住者が多く、家庭菜園程度でも土に触れ農業を楽しんで、直売所に出荷する楽しみを持ってくれと、農業の将来にも繋がると期待しています。「子ども・ふれあい食堂」は、対象を高齢者にも広げ、世代間交流の場にもなっています。小さい頃からの食育と女性の活用で地域の将来を明るくしたいです。



大好きな久住町で牛を飼って

油布あすみ
(竹田市)
令和6年1月25日



自然豊かな竹田市久住町に生まれ、2022年に新規就農しました。父や母に教わり、夫に手伝ってもらいながら、繁殖和牛の飼育をしています。農地を荒らさないためにトラクターを操り大自然を満喫しながら毎日楽しく農業をしています。久住町の恵まれた土地で牛を飼い、夢を語ればきりがありません。いろいろと大変なこともありますが、これからも頑張っていきます。

